

※「サービス等利用計画作成サポートブック」（日本相談支援専門員協会）より抜粋

様式3-1

モニタリング報告書(継続サービス利用支援)

利用者氏名	〇〇 〇男	障害程度区分	区分2	相談支援事業者名	〇〇相談支援センター
障害福祉サービス受給者証番号	1234567890	利用者負担上限額	9300円	計画作成担当者	〇〇 〇〇
地域相談支援受給者証番号	1234567890				
計画作成日	2011年4月15日	モニタリング実施日	2011年6月5日	利用者同意署名欄	〇〇 〇男

総合的な援助の方針		全体の状況	
生活リズムの安定をさせ、社会参加して活動の幅を広げる。 少しでも工賃を稼ぎ、充実した生活を送れるようになる。		障害者自立支援法のサービスを受けるようになり社会参加するようになり生活リズムがついた。	

優先 順位	支援目標	達成 時期	サービス提供状況 (事業者からの聞き取り)	本人の感想・ 満足度	支援目標の達成度 (ニーズの充足度)	今後の課題・ 解決方法	計画変更の必要性			その他留意事項
							サービス 種類の変更	サービス 量の変更	週間計画の 変更	
1	一日のスケジュールを決め、体力の向上に努め、週3回就労移行支援事業所に通えるようになる。	6ヶ月	朝10時から16時まで（6時間）事業所で過ごすことができ、パソコンの入力も片手打ちだが入力時間の短縮ができた。	最初は慣れなかったパソコン操作だが、左手で打つスピードが上がった。	入力する内容が簡単なものはできるようになった。体力も付き、週3回の通所は無理なくできるようになった。	回数を週3回から4回に変更する。 就労移行支援事業所のサービス管理責任者と連携を取って、本人の能力にあった業務内容に変更してもらう。 工賃が少しアップするか。	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>	無 <input checked="" type="radio"/>	パソコン業務内容について、テープおしの入力や学校新聞、塾の教材などの入力に変えて、失語症の訓練を兼ねるとともに自信につなげる。
2	年金の手続きをする。	3ヶ月	年金の手続きは完了。（妻は求職登録をするともに、今の職場へも就職あっせんを依頼している。）	収入が少ないと心配。早く働きたい。	手続き完了。 引き続き妻の求職活動についてアドバイスする。	妻が働く時間が増えることで家族関係が希薄にならないか考慮する。	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>	有 <input checked="" type="radio"/>	妻の介護負担軽減を図る。
3	昔の仲間と市内のカーデニングへ出かけ、仲間と市内のカーデニングへ出かけ。	12ヶ月	カーデニングは天候にも左右されやすいが、そんな時はDVDを見て楽しんだ。（友人）	引きこもっていた自分の姿で落ち込む日もあったが、仲間が誘ってくれてよかった。	外出の機会が増えて、活動の幅が広がり、ちょっとしたことで重気が出てきて、自信がついた。	仲間からの誘いだけではなく、本人から進んで計画ができるようにする方法を考える。上のライセンシスにチャレンジする。	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>	有 <input checked="" type="radio"/>	カーデニングの放送大学をTVで視聴して、上のライセンシスを取得する。
4	高血圧・高脂血症があるので健康管理し、体重を5キロ減らす。	3ヶ月	4キロ減量できた。このまま運動を継続するように。（主治医）	再発作が怖いので、注意している。 5キロ減らせそうに思う。	規則正しく運動している。血圧は正常値を保っている。油ものを控えたり、食事にも気をうつようになった。	引き続き運動を継続。定期的な受診。食事管理、野菜や豆を多く摂取する。	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>	有 <input checked="" type="radio"/>	月1回定期
5	週に4回は入浴がシャワー浴をする。	1ヶ月	服衣は自力、浴槽の出入りは見守りで可能。浴槽内での立ち上がり動作に工夫が必要か。着衣は一部確認が必要。	風呂に入れるのは嬉しい。訓練に通っている日はシャワー浴で仕方ないか。	回数は、ほぼ達成できた。本人は毎日入浴したいのではないかと？	浴槽内の立ち上がり動作について専門職の意見を得る機会を作る。	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>	有 <input checked="" type="radio"/>	専門職の意見を得るようになる。現在の通院先の外来で可能を確認する。
6	留守番ができるようになる。	3ヶ月	月2回の訓練では単語カードなどを使って訓練を行っている。着実な回復が見られている。	言いたいことが伝わるようになってきた。うれしい。	留守番をしても簡単な用件なら実施できるようになった。伝言メモも書ける。	引き続き訓練を継続する。	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>	有 <input checked="" type="radio"/>	

※「サービス等利用計画作成サポートブック」（日本相談支援専門員協会）より抜粋

様式3-2

継続サービス等利用計画【週間計画表】

利用者氏名	〇〇 〇男	障害程度区分	区分2	相談支援事業者名	〇〇相談支援センター
障害福祉サービス受給者証番号	1234567890	利用者負担上限額	9300円	計画作成担当者	〇〇 〇〇
地域相談支援受給者証番号	1234567890				
計画開始年月	2011年7月				

月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00	起床	起床	起床	起床	起床		就労支援センターB型ではITセンターでパソコン操作を行い、文字入力を行う。
8:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食		パソコン環境を整え、椅子もリクライニングタイプにしてリラクゼーションした。
10:00	カーデニングサークル会 (第1・2・4月曜)	Vによる移動介助	Vによる移動介助	Vによる移動介助	身体介護(入浴)	起床	昼食は事業所の職員がセッティングしてくれ、自力で摂取する。 カーデニングを昔の仲間と一緒に月3回楽しむ。
12:00	昼食	就労支援センター △△ (就労移行支援事業)	就労支援センター △△ (就労移行支援事業)	就労支援センター △△ (就労移行支援事業)	昼食		
14:00	身体介護(入浴)			移動支援(買い物など)		昼食	
16:00		事業所の送り	Vによる移動介助	事業所の送り			
18:00						シャワー浴(妻の見守り)	週単位以外のサービス カーデニングのサークル会を月曜日から火曜日に変更。 歩くことで体重維持し健康管理。 浴槽内での立ち上がり動作について方法を工夫する必要があるので専門職の意見をきく貴会を作る。
20:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
22:00							
0:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
2:00							
4:00							

サービス提供
によって実現
する生活の
全体像

就労移行支援事業所の利用を週3回から4回に増やした。元々していた教員の教材のパソコン入力やテープ起こしをするようになった。家族を養うという意欲が出てくる。
中途障害であるが、家族と一緒に元来のライフステージを取り戻して笑顔が見られるようになってきた。
持病を持って就労する不安はあるが、仕事日を増やし、妻の教材を作成するなどのパソコン入力は、失語症の訓練にもなっている。
パソコン操作は個別に行っているが、流れ作業をする中で仲間意識を高めることになり、職場環境が充実したことになる。
常に誰かのお世話にならないと生活ができないという思いを、少しでもなくし、「自分も役割があるよ」という思いを持ってもらいたい。

中原区サービス調整会議提出票

会議実施日	平成 24 年 3 月 23 日	提出者	所属	相談支援事業所かわさき			
			氏名	幸 花子			

利用者氏名	高津 太郎		年齢	18 歳	障害程度区分	3	
					要介護度		
提出回数	<input checked="" type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 2回目以上	前回提出日	平成 年 月 日				
協議理由	<input checked="" type="checkbox"/> 基準超過 <input type="checkbox"/> 訓練等給付の支給決定 <input type="checkbox"/> 地域移行支援の支給決定 <input type="checkbox"/> その他 ↳ (行動援護)						
協議内容	【説明】 45歳の母と二人暮らし。父は平成21年に病死。 今年3月に特別支援学校を卒業し、4月から生活介護事業所みやまえに通所予定。これまで、土日は母と外出することが多かったが、4月から母の職場が変わり、土日は出勤しなければならなくなった。そのため、4月から土日は行動援護を利用して外出を希望している。行き先は、遊園地や水族館など。 本人は、食事や排せつ等に介助が必要であり、母が出勤している間、自宅で一人にしておくことはできない。また、一人で電車に乗ったり買い物をしたりすることも難しい。そのため、別紙サービス等利用計画案に記載しているとおり行動援護の利用が必要であるが、基準を超過するため協議するもの。 【モニタリング結果(変更・期間更新等の場合)】						

利用者の状況	障害状況	障害手帳	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ↳ <input type="checkbox"/> 身体 級 <input checked="" type="checkbox"/> 知的 A2 <input type="checkbox"/> 精神 級						
		その他障害	<input type="checkbox"/> 発達障害 <input type="checkbox"/> 高次脳機能障害						
		障害・疾病名	自閉症						
	ADL状況		自立	一部介助	全介助		自立	一部介助	全介助
		寝返り	○			食事		○	
		起き上がり	○			排泄		○	
		移乗	○			着脱		○	
		移動	○			意思伝達			○
		入浴		○		言語理解		○	
	【特記事項】								
家族の状況	母(45歳) 会社員(4月から職場が変わり、水～日曜日の週5日勤務予定)。健康状態は良好。								
その他特記事項									